

研究シーズ名			
可逆性を考慮したプログラミング方法論			
分野	コンピュータサイエンス (計算機科学)	所属学会	情報処理学会 日本ソフトウェア科学会 ACM
キーワード	プログラミング方法論		
研究者名	横山 哲 郎	YOKOYAMA, Tetsuo	職名 教授
所属	理工学部電子情報工学科	連絡先	center-se@nanzan-u.ac.jp
URL	https://porta.nanzan-u.ac.jp/research/view?l=ja&u=101934		

概要
計算機プログラムおよび計算機アーキテクチャを数理的にとらえて、プログラミングの方法論にあらたな視点を与えることを長期研究で目指しています。最近のテーマは、可逆計算、可逆プログラミング言語、および可逆アルゴリズムです。可逆性という制約の下でどのようなプログラミング方法論が有効であるか、また既存のプログラミング方法論に新たな視点を与えることができるかどうかということ进行研究しています。
応用例
可逆構造化定理は、任意の可逆流れ図において有効な定理です。形式化した可逆言語Janus言語は、可逆論理回路の設計に利用されています。
共同研究・受託研究の実績
特記事項無し
特許関連・論文など
特記事項無し

お問合せ先
 南山大学理工学研究センター
 TEL:052-832-3278 E-mail: center-se@nanzan-u.ac.jp